

No.110	革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業 電波有効利用研究開発プログラム2025（課題093、094、095、096）		
機関名	国立研究開発法人情報通信研究機構		
募集締切 （公募機関）	2025年10月14日(火)		正午(必着)
学内締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2025年9月29日(月)	※研究者登録申請書を併せてご提出願います。 （リンク）
	e-Rad登録完了、 学内締切日(原議書)	2025年10月7日(火)	
応募方法	e-Radによる提出 ※機関提出につき、e-Radの提出は事務局で行います。 ※本公募は事務局において事前了解の手続きを行いますが、e-Radへの応募情報の提出は各申請者が行ってください。		
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	必要		
概 要	【公募対象の研究開発プロジェクト】 ●課題093：AI/MLを用いたビーム制御及び省電力制御による Massive MIMO基地局高度化技術の研究開発 現在普及が進んでいるMassive MIMO基地局に対して、AI/MLを活用することで、ユーザ分布やトラヒック状態に応じて、ビーム制御と省電力制御を最適な組合せで実行することで、消費電力とスループットの最適化を行うMassive MIMO基地局高度化技術の研究開発を実施する。 ●課題094：超高速大容量モバイルネットワークを実現するRAN高度化技術の研究開発 Beyond 5Gで期待されるSociety 5.0実現に向けて、増大する移動通信トラヒックへの対応と、ITUにおいて新たに移動通信システムへの割当について議論することが予定されている新周波数帯の有効活用を可能とするRAN高度化に資する研究開発を行う。 ●課題095：高速鉄道におけるモバイル端末向け大容量通信技術の研究開発 我が国が目指す社会（Society 5.0）の実現に向け、都市間で旅客を大量に輸送する交通機関である超高速鉄道の車内において、多数のモバイル端末の大容量通信を実現するために必要な技術を研究開発する。 ●課題096：移動体通信システムに実装する耐量子計算機暗号技術等に関する研究開発 次世代移動体通信システム等への実装が想定される耐量子計算機暗号（PQC）等の次世代暗号について、高水準の安全性を確保しつつモバイル環境での実用に適した暗号設計や、より確実な暗号移行を支援する技術の研究開発を実施し、将来における円滑な暗号移行と電波の有効利用を図る。		
応募上の注意	本公募の応募方法は「機関提出」となりますので、研究者単位での応募はできません。e-Rad登録については事業推進係より研究者に編集権限を付与し、e-Radへの編集をいただきます。 つきましては上記リンクの【研究者登録申請書】をご提出いただき、事業推進係にて研究者番号を登録することによりe-Radの編集が可能となりますので、速やかにご提出ください。 配分機関への提出は事業推進係から行うことで提出が完了します。 尚、部局担当者のe-Radでは申請内容の確認ができませんので、申請内容については申請者にe-Rad応募内容提案書のPDFを出力いただき、内容をご確認ください。		

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。